



ワークショップ

イベント・シンポジウム等実績報告書 配分事業費：866千円

メディアデザインウィーク

目的・趣旨

メディアデザインに関して本学で行われている様々な教育の成果を学外に公開し、地域の皆さんに本学の教育に関する理解を深め、ご意見をいただくことを目的とする。あわせて、メディアデザインに関する講演会、ワークショップを開催し、学生、教職員、地域の皆さんに対して、メディアデザインに関する知識を深める機会を提供する。

日時・場所

平成29年2月3日から平成29年2月9日
西ギャラリー、西エントランスホールほか

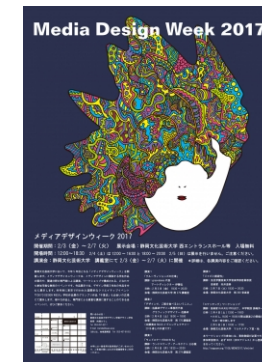
体制

(実施代表者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	的場ひろし
(実施分担者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	長嶋洋一
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	日比谷憲彦
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	かわこうせい

共催・後援等

内容

本イベントは、メディアデザインに関する学生作品の展示、関連分野の専門家による講演、ワークショップで構成された。作品展示では本学デザイン学部メディア造形学科最後の学年となる現3年生の作品を中心に、新体制デザイン学科の2年生及び1年生の作品、「TOKYO DESIGN WEEK2016」学校作品展学校賞グランプリ受賞作品等、様々な作品を展示・上映。講演会では「アートディレクション」「グラフィックデザイン（「イブニングレクチャー2016」との共催）」「アニメ・キャラクタービジネス」「空間デザイン」「音楽」の各分野より専門家を招いた。ワークショップでは、「スケッチング（物理コンピューティング）」をテーマとして2日間にわたる製作体験を行った。



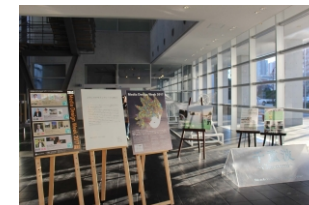
メインポスター



講演会案内

結果・成果

西ギャラリーでは、メディアデザインに関連のある5科目における制作作品25点の展示を行った。作品展示を行った学生が来場者に対して作品の意図や背景、科目の教育内容や目標等について説明を行い、来場者からは今後の制作の参考となる多くの意見を得ることができた。各講演会では、豊富なビジュアル資料や実際の演奏等を交えた分かりやすいプレゼンテーションが行われ、メディアデザインに関する様々な事例、知見が紹介された。また、講演会後の質疑応答においては、来場者から多くの意見や質問が出て、活発なディスカッションが行われた。イベント全体で、本学学生、本学教職員、一般市民、デザイン関係の社会人等、約300人の参加者があった。



展示会



学生作品を鑑賞する佐藤卓氏



向井滋春氏の「ジャズ」に関する講演



三谷徹氏と本学教員のディスカッション



伊藤弘氏による講演



大橋隆昭氏による講演